

登録コード	A3592428	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	生井 楓
英文授業名	Presentation						下里 剛士
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	生井研所属の4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンベンション 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					・パワーポイントスライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る ・他者の発表に対する質疑を行い、自身の考え、意見を伝える能力の向上を図る	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					・パワーポイントスライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る ・他者の発表に対する質疑を行い、自身の考え、意見を伝える能力の向上を図る	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					・パワーポイントスライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る ・他者の発表に対する質疑を行い、自身の考え、意見を伝える能力の向上を図る	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					・パワーポイントスライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る ・他者の発表に対する質疑を行い、自身の考え、意見を伝える能力の向上を図る	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告・まとめについて、PowerPoint等を用いて各研究分野のセミナーで発表する。						
(5)授業計画	微生物学・腸内細菌学・免疫学・細胞生物学に関するトピックスについて、全16回にわたり扱う。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	他者への説明において、 スライドの工夫 話し方・声の大きさ ポインターの使い方 質疑応答の的確さなどについて、評価を行う。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	常に最新の原著論文を検索し、読み解く訓練を行います。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員の居室はC棟407です（分子生命工学研究室）。 オフィスアワー：平日9:00-17:00 eメールでの質問も受け付けます。 fu_namai@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						